

# 聖徳大学食に関する講演会

**11月8日** **土**

14:00~15:30

**摂食弱者にやさしい食品**

— 高齢者食・介護食の開発と利用 —

講師：**伊藤 裕子** 先生

(キュービー株式会社 研究開発本部)

共 催：公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会

**11月9日** **日**

14:00~15:30

**コミュニティの視点から  
車椅子利用者の健康づくりを考える**

— 自立/自律している人を支える環境づくりをめざして —

講師：**稲山 貴代** 先生

(公立大学法人 首都大学東京 人間健康科学研究科)

共 催：一般社団法人全国栄養士養成施設協会

会 場

**聖徳大学1号館2階1219教室**  
(JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩5分)

定 員

**200名**(申込不要・入退場自由)

主 催

**聖徳大学人間栄養学部**

後 援

**松戸市教育委員会  
市川市教育委員会  
柏市教育委員会  
取手市教育委員会**

**参加費  
無料**



# 講師紹介

1日目

11/8(土) 14:00~15:30

## 摂食弱者にやさしい食品 — 高齢者食・介護食の開発と利用 —

日本社会の高齢化にともない、十分に噛めない咀嚼力不足、食物がのみ込めない嚥下困難などの摂食弱者が増えています。摂食弱者のニーズに応えるため、我が国の食品業界では様々な加工技術を駆使し、医療機関とも連携して、高齢者食・介護食を開発してきました。その結果、従来のペースト食ではなく、外観も風味も本来の調理品と同様で、テクスチャーだけが異なる食品も登場し、その市場も拡大しています。福祉の観点からも食べる喜びは重要であり、これらの新規食品は福祉、医療の関係者からも高く評価されています。本講演では、高齢者食・介護食の開発の背景と現状、施設や一般店舗における利用状況を紹介し、咀嚼や嚥下の障害に悩む人への適切な食の提供について考えることを目的とします。



キュービー株式会社  
研究開発本部 商品開発研究所介護食チーム  
チームリーダー

伊藤 裕子 先生

医療食、介護食の開発・立ち上げに携わり、その後、商品開発本部やヘルスケア営業部を経て、現在は再び研究所にて介護食品の研究開発を行っています。開発商品には、家庭用介護食「キュービーやさしい献立」シリーズ、ならびに業務用高齢者対応食「ジャンプ ワンステップミール」シリーズなどがあります。

共催 公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会

2日目

11/9(日) 14:00~15:30

## コミュニティの視点から 車椅子利用者の健康づくりを考える — 自立/自律している人を支える環境づくりをめざして —

高齢者人口の増加や、生活習慣病が原因となって生じる中途障害の増加に伴い、障害を負う人々は年々増加しています。本講演では、障がい者のヘルスプロモーションについて考えます。身体障害のうち最も多い肢体不自由の車椅子利用者の方を対象とした研究から、栄養管理のためのガイド、食生活管理のためのガイドを作成するための基礎資料となる科学的根拠をご紹介します。高齢化にともない、飲み込みが悪くなる、聞こえにくくなる、歩くのが困難になるなど、多くの人は何らかの障害をかかえながら最後を迎えることになります。本講演をとおし、自分の身近な人のこと、自分の大切な人のこと、そして自分のこととして、どのような支援的環境にあるコミュニティづくりができるかを考えましょう。



公立大学法人  
首都大学東京 人間健康科学研究科  
准教授

稲山 貴代 先生

仙台白百合女子大学講師、東京都立短期大学助教授を経て現職。実践分野の視点から公衆栄養学、応用栄養学の分野での研究を行っています。コミュニティをベースに、障がい者も含め、子どもから高齢者まで、スポーツをキーワードに科学的根拠に基づいた食生活や食支援のあり方を提唱しています。

後援 一般社団法人全国栄養士養成施設協会



SEITOKU

聖徳大学

<http://www.seitoku.jp/univ>

問い合わせ先

聖徳大学 知財戦略課

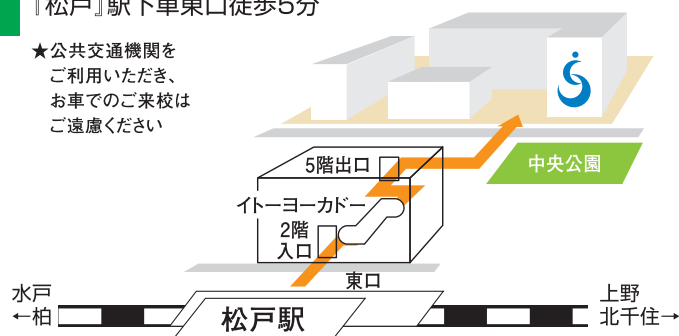
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

047-365-1111(大代)

アクセス

JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線  
『松戸』駅下車東口徒歩5分

★公共交通機関をご利用いただき、お車のご来校はご遠慮ください



イトーヨーカドー内エスカレーターを利用できます。  
閉店時は正面の通路階段をご利用ください。